

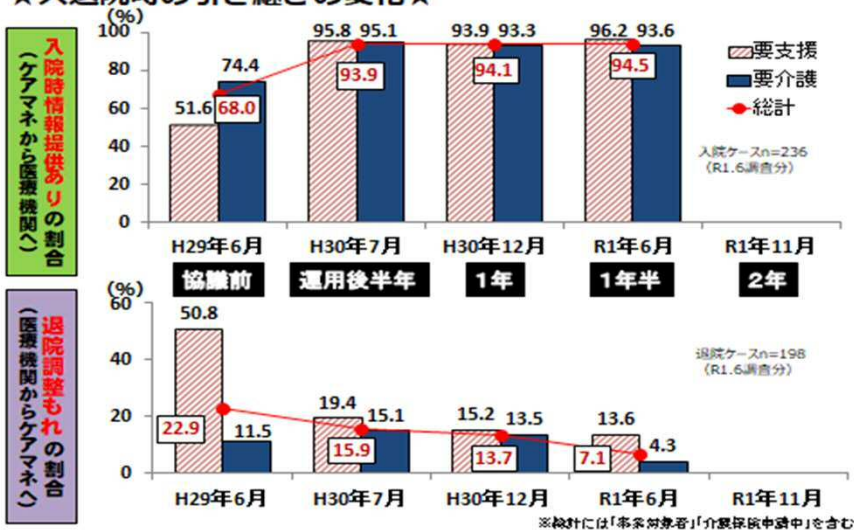
退院調整ルール運用開始後 令和元年度第1回メンテナンス協議の開催結果について

*平成30年4月に運用開始した「南薩保健医療圏域退院調整ルール」の運用状況を点検し、改善点を検討するため、令和元年度第1回メンテナンス協議を開催しました。

	令和元年度第1回介護支援専門員による協議		令和元年度 第1回医療・介護合同会議
	南薩西部3市	指宿市	
日時	R1.8.23(金)14時～16時	R1.8.26(月)14時～16時	R1.9.17(火)14時～16時
場所	南九州市市民交流センター ひまわり館	指宿市考古博物館時遊館 COCCOはしむれ	南九州市コミュニティーセンター 川辺文化会館
参加者	43名 (南薩西部3市内の居宅介護支援事業所, 小規模多機能型居宅介護の各事業所代表者1名)	17名 (南薩西部3市内の居宅介護支援事業所, 小規模多機能型居宅介護の各事業所代表者1名)	50名 ・南薩圏域内各医療機関の代表者1名 ・介護支援専門員代表者7名
内容	(1)退院時情報がケアプランに反映されないケースについて (2)効果的なマネジメントにつながったケースから振り返る『働きかけ』		(1)お互いの負担軽減のためにできること (2)カンファレンスの効果的な活用について (3)今後のメンテナンス会議の活用のために

1. 入退院時の引き継ぎ状況は良好で、ルールが定着し、浸透してきています！

★入退院時の引き継ぎの変化★



★アンケート回収率が100%でした！

◎入院時 (ケアマネ→医療機関) の引き継ぎ率は **90%以上をキープ** していました。

◎退院前 (医療機関→ケアマネ) の繋ぎ漏れ率は さらに下がりました。介護保険で要介護認定中の方の繋ぎ漏れ率は **5%以下** になっていました。

2. 医療機関からの情報は介護支援専門員のマネジメントに活用されています。よりよいマネジメントにつながった要因や働きかけについて意見交換しました。

<『介護支援専門員による協議』から抜粋>

- 必要な時に必要な情報を共有した
- 医療機関にサービス利用の必要性を伝えて入院中に助言や指導が行われ、退院後サービス利用開始となった
- 適切な介護サービス量をアセスメントできる情報が得られた
- 医療機関から不足する専門知識を得て (ケアマネは医療職とは限らない) 療養生活を支援している
- シート特記事項欄へ入院中に行われた指導内容の具体的な記載があり、助言や説明に活用している
- 医療機関内連携が上手く、相談・情報収集・情報周知もスムーズに進み、タイムリーな支援ができた
- カンファレンスによる効果 (多職種からの助言で患者の病気に対する意識が前向きに変化した)

等

3. 退院調整ルールを継続していくために、お互いの負担軽減のためにできることについて、意見交換しました！

介護側の意見	医療側の意見
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 家族からケアマネに入院時情報がなかなか来ない。サービス事業所から連絡がくるので、ケアマネの名刺をサービス事業所に渡している。 ◆ 情報提供する際にケアマネの名刺を入れている。 ◆ 長期入院の場合、ケアマネから途中経過の把握のため連絡をすることもある。 ◆ 長期入院の場合、ケアマネの契約が終了していることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 退院が近くなったら外来と病棟スタッフで情報共有し、退院後のサポートにつなげている。 ◆ 担当者任せになってしまう傾向があるので医療機関内で情報共有や周知を図っている。小規模の医療機関では、兼任で手が回らない。 ◆ 突然のケアマネ来院は慌てるので、来院前に1本電話がほしい。 ◆ 検査入院（短期入院）は情報共有していない。（入院前後で患者の状態に変化がない場合）
<p>共通意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 顔の見える関係になり、お互いが連絡しやすくなった。顔が見える関係が重要。 ● シートはツールであり、連携がとれていたら、シートが無くても面談等で事足りることもある ● パソコン操作が苦手な世代のスタッフが多い中、入力がチェックだけなので今の情報共有シートは便利 ● 担当ケアマネを知りたい時は南薩圏域の方の場合は各市地域包括支援センターに相談を！ 	

4. メンテナンス協議の今後のあり方について意見交換しました！

<ul style="list-style-type: none"> ● 回数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2回/年程度の会議は続けて欲しい ・ メンテナンス会議は年1回、もう1回は事例検討 ・ 1回は4市合同で開催、もう1回は各市開催 ● 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ協議の時間をもう少し長く、もっと多職種・他機関の意見を聞きたい。 ・ 実態調査結果の事務局説明は時間を短く ・ 事例検討（退院支援困難事例等の発表や検討） ● グループ構成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4市合同開催であれば、他市とのグループ構成 ・ 同じ地区の方々と意見交換をしたい。 	<p>* これらの意見も参考にしながら、ルールの運用を効率良くかつ効果的に確認・協議していくために、メンテナンス協議をどのようにしていくのが良いのか、今後検討していく予定です。</p>
---	--

5. 事業参加医療機関は45か所です（未参加は残り2か所）

事業参加医療機関は、令和元年9月末現在 **45か所** です。

【枕崎市】

ウエルフェア九州病院、尾辻病院、小原病院、久木田整形外科病院、サザン・リージョン病院、立神リハビリテーション温泉病院、枕崎市立病院

【指宿市】* 市内全医療機関が参加

今林整形外科病院、赤崎病院、伊藤記念病院、指宿浩然会病院、指宿さがら病院、指宿竹元病院、指宿医療センター、西田病院、宮園病院、山川病院、生駒外科医院、指宿脳神経外科、上村内科クリニック、開聞クリニック、木之下クリニック、橋口医院、肥後内科クリニック

【南さつま市】

阿多病院、有馬病院、加世田病院、県立薩南病院、真愛病院、南さつま市立坊津病院、南さつま中央病院、アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町、小山クリニック、徳久整形外科、友松内科クリニック、宮内クリニック、唐仁原内科クリニック

【南九州市】

川辺生協病院、菊野病院、こだま病院、中村温泉病院、南薩ケアほすびたる、南九州さくら病院、笹川医院、青木医院



これからも、メンテナンス協議を続けていきましょう！

退院調整ルールの周知を図り、みんなでルールを運用し、活用していきましょう！
11月に令和元年度2回目の実態調査を行います。御協力よろしくお願いします。